

**「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会の概要（平成24年6月現在）**

- 会長： 伊藤祐一郎・鹿児島県知事
- 事務局： 鹿児島県世界文化遺産課内
- 会員： 遺産候補が所在する自治体8県12市  
(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県 静岡県、  
北九州市、大牟田市、中間市、佐賀市、長崎市、荒尾市、宇城市、鹿児島市、  
下関市、萩市、釜石市、伊豆の国市)
- 専門家委員会： 国内外16名の有識者で構成(国内7名、海外9名)  
統括委員長 ニール・コソン卿(イングリッシュヘリテージ元総裁)  
委員長 西村 幸夫(東京大学教授)
- 九州・山口を中心に、稼働中の産業遺産を含む遺産群を構成遺産候補として選定・検討しているところ。
  - ※ 稼働中とされる4候補 ①旧官営八幡製鉄所(福岡県北九州市、中間市)  
②三池港(福岡県大牟田市)  
③長崎造船所(長崎市)  
④橋野高炉跡及び関連施設(岩手県釜石市)
- 平成27年度での世界遺産登録を目指しており、申請に必要な推薦書選定の国内提出期限となる平成25年7月までを目途とし活動しているところ。

## 九州・山口の近代化産業遺産群に係る今後のスケジュールについて

九州・山口の近代化産業遺産群の推薦書原案の作成と審議等の一連の手続きが、「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会による現段階の想定のとおり順調に進んだ場合におけるスケジュールは以下のとおりである。

(2012年)

7月 : 稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議 (概要の説明)

(2013年)

年明け頃 : 稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議 (検討状況の報告)

春頃 : 推薦書原案の提出 (関係自治体)

春～秋頃 : 稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議  
(審議のために2～3回開催、推薦書(暫定版)提出の確認)

秋 : UNESCOへの推薦書(暫定版)の提出

(2014年)

年明け頃 : 稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議 (推薦書(正式版)提出の確認)  
: 閣議了解  
: UNESCOへの推薦書(正式版)の提出

夏～秋頃 : ICOMOSによる現地調査

(2015年)

夏 : UNESCO世界遺産委員会による決定